派　遣　報　告　書（報告者；草野　恵理子　）

大会名	第 12 回九州女性研修会
開催地	佐賀県唐津市
日　時	平成　27 年　3 月　14 日　～　3 月　15 日
担当ｹﾞｰﾑ	（男子準決勝）糸島高校(福岡県)　　ｖｓ　唐津東高校(佐賀県))
相手審判	主審・副審：　草野　・　久保氏（鹿児島県）

ミーティング内容（主任：　藤城　真理氏　　）

　プレイヤーが一生懸命プレイしている中、トラベリングやディフェンスの悪い手の使い方に対して正しい判定ができなかった。一貫性を考えるとゲームの途中で取り上げるものを変えることは良いことではないが、軌道修正していく必要があった。主審として、相手審判と意思疎通を交わしていくこと、イニシアチブをとってゲームを進めていく力を身につけていくことが、これからの私に必要なことだと感じた。

　その判定、勝敗で、進学や就職、チームの存続が決まったりすることもあるほど、ひとつひとつの判定は重いこともある。我々審判はそういうことも踏まえて、判定を下していかなければならないと松本究氏からもお言葉をいただいた。

今大会に参加しての感想など

　今回数年ぶりに県外で審判をさせていただきましたが、他県の女性審判の皆さんから多くの刺激を受けることができました。藤城氏の講義で『環境作り』に関する話がありましたが、私も環境を整えていかなければならないと思いました。

　今回の研修会のお世話をしてくださった佐賀県の女性審判の皆様、講師をしていただいた先生方、この機会を与えてくださった御手洗審判長、大分県協会の方々に感謝いたします。